

(社)日本家政学会平成23年度第3回(通算445回)理事会議事抄録

開催日時 :平成23年10月8日(土)13時30分~17:40

開催場所 : 日本家政学会会議室

出席者(15名):大竹会長、小川副会長、佐々井副会長、中島副会長、石井、猪又、大塚、表、香西、布施谷、平田耕造、浜島、石原、清水、長山各理事

監事:今井、久保田

欠席者:牛腸理事、平田道憲理事

【審議事項】

1. 入会申し込み者の承認について

中島副会長から資料7に基づき平成23年9月13日から10月7日の入会申込者5名が報告され、満場一致で入会を承認した。

2. 海外会員の年度及び会費納入手数料について

中島副会長から海外会員の年会費の期間を4月1日から3月31日とし、また、会費納入時の手数料については学会負担とすることが提案され満場一致で承認された。

3. 平成23年度(社)日本家政学会第63回大会会計報告等

中島副会長より資料8に基づき、第63回大会の会計報告がなされ、本部からの準備金200万円を返却し、218,000円を本部に入金したことが満場一致で承認された。

4. 第64回大会(大阪市立大学)について

小川運営委員長より第64回大会の計画案が資料9,10に基づき示された。①シンポジウムは「災害に向けての支援—家政学に期待すること—」とする、②大会スケジュールの確認、③公開講演会は大阪市立大学との共催、④会計の確認、⑤研究発表申し込み案内を資料11に基づき検討し、高齢者を削除し、震災を加えたことを確認し、申し込みはアトラスのシステムを使用する、⑥企業展示は断ることがあることを実行委員会名で明示することを確認した。また、図書販売については生協かまたはしない可能性もある。以上6点を満場一致で承認した。

5. 2012年度、代議員、理事、監事、副会長、会長の選挙について

大竹会長から「役員選出規程」の改正案(資料12)が提案され、また、「選挙管理委員会の申し合わせ」が提案され、満場一致で承認された。

6. 日本家政学会規程の整備について

中島副会長から一般社団法人への変更により日本家政学会規程等集の見直し提案され(資料13、ならびに一般社団法人日本家政学会規程等集2011.10.7版)詳細にわたって検討し、文言の統一、規程等の改廃の項目、附則に改正、施行日を入れた。また、中部支部規約(資料14)、関西支部規約(資料15)、九州支部規約(資料16)の変更点についても満場一致で承認した。

7. 震災復興プロジェクトについて

大竹会長より「東日本大震災日本家政学会(JSHE)生活研究プロジェクト」の研究について(資料17)、研究期間(10年間)、研究組織(特別研究委員会)とするこ

と、また、科学研究費基盤研究Bとして申請することが提案され、満場一致で承認された。

8. 委員会の委員構成について

平田委員長から国際交流委員・特別委員一覧(資料19)とIFHE日本支部解散のお知らせ(案)について(資料20)提案され、委員と日本支部解散の方針について満場一致で承認した。

9. 活動助成について

小川副会長より資料21に基づき、平成23年度第2期活動助成申請が6件あり、6件の活動に助成することが提案され、満場一致で承認された。

10. HP関係について

表理事よりHPの移設に関わる件を株式会社アトラスとし、その費用は資料22にレンタルサーバー10,800円、HP移設料105,000円の見積もりが示され、満場一致で承認された。

11. その他

1)小川副会長より功労賞選考委員会について支部長を兼ねている理事の6名で組織し設置することが提案され満場一致で承認された。また、学会賞選考委員会の委員長は小川副会長と石井、猪又、香西、大塚、表、布施谷、平田の7名で組織し設置することが提案され満場一致で承認された。

【報告事項】

1. 退会申出者、会員動向、会員増加及び会員の移動と会費等の徴収について

中島副会長より資料23に基づき退会申し出者22名、会員の現況報告会員数3030名、5名の支部移動、3名の氏名変更、10名の会員種別移動が報告された。退会届の書式が資料24に基づき提案され、HPに掲載すること、学会誌にも掲載することを確認した。

2. 支部関係

東北北海道支部(浜島支部長)、関東支部(資料報告)、中部支部(石原支部長)、関西支部(清水支部長)、中国四国支部(資料報告)、九州支部(長山支部長)の報告があった。

3. 財務関係

佐々井副会長より、アルバイト雇用について資料31に基づき留意点が示された。

4. 編集委員会

香西委員長より資料32に基づき、Webシステムについての変更を学会誌、HPに掲載する。平成24年1月からはWeb投稿のみとなることが報告された。

5. その他

1)大竹会長より日本食文化の世界無形遺産への登録に向けて(資料33)食文化研究会に団体として紹介したことが報告された。

2)小川副会長より学会賞・奨励賞の候補者について理事もその対象になることを確認した。以上